

定期予防接種に係る間違い報告書（記載例）

報告受理年月日	令和〇年〇月〇日	間違い発生年月日	令和〇年〇月×日
市町村名	〇〇市	市町村担当者名	〇〇 〇〇
被接種者の情報	生年月日 平成△年△月〇日生	年齢(接種時)	×歳△か月 性別 男
医療機関名	◇◇クリニック	医療機関所在地	〇〇市××1-1
ワクチンの種類	肺炎球菌	ワクチン名	プレベナー20
メーカー名	ファイザー	ロット番号	××××

【間違いの態様】 ※複数の「間違い」にまたがる場合は、複数選択すること。

○	(1)接種するワクチンの間違い	(本来の接種ワクチン)	MR
	(2)対象者以外への接種		
○	(3)不必要な接種を実施	(不必要な接種ワクチン)	肺炎球菌
	(4)接種間隔の間違い (日)	(本来の接種間隔)	日
	(5)接種量の間違い (ml)	(本来の接種量)	ml
	(6)接種部位・投与方法の間違い	(具体的内容)	
	(7)接種器具の適切でない取扱い (8)を除く	(具体的内容)	
	(8)接種器具の適切でない取扱い (血液感染を起こしうるもの)	(具体的内容)	
	(9)有効期限切れワクチン接種	(有効期限)	年 月 日
	(10) ワクチンの不適切な保管・取扱い		
	(11)その他 ()		

【間違いの概要】

〇月〇日、事務員と看護師Aで本日接種するワクチンがMRであることをダブルチェックした。看護師BがMRワクチンではなく肺炎球菌ワクチンをトレーに準備したが、間違いに気付かず接種した。肺炎球菌ワクチンは既に4回接種が完了していたため、5回目の接種となった。

※どのような過程で間違いが起こったのかがわかるように記載。

【間違いがどの時点で発覚したか】

診療時間終了後、看護師Cが予診票を確認していた際に、本来接種するワクチンがMRであったことがわかり、間違い接種が発覚した。

※いつ、だれが、どのようにして発覚したのか記載。

【被接種者（保護者）への説明内容】

〇月〇日に電話にて、異なったワクチンを接種したことを医師から保護者へ説明し、謝罪した。接種後の体調も問題なく、間違い接種及びその説明に納得してもらった。肺炎球菌ワクチンは過接種となったため、1週間程度は体調の変化について確認し、変化がみられた際にはすぐに連絡をいただけるよう説明した。連絡が入った際はすぐに対応できるよう院内の体制及び対応の情報共有を行った。

保護者への説明にあたっては、予防接種センターへ相談し指示を仰いだ。

※いつ、だれが、どのように説明したのか、また被接種者（保護者）の納得の有無や体調面についても記載すること。再接種の必要性については、予防接種センター等に確認し指示を仰ぐこと。

健康被害	無	有の場合、具体的な症状と現状 ()
再接種の有無	無	
抗体検査の有無	無	有の場合、具体的な内容及び結果 ()
血液検査の有無	無	有の場合、具体的な方法及び回数 ()
公表の有無	無	有の場合、具体的な方法（記者発表等） ()

【今後の再発防止策】

- ・受付時以外にも、ワクチン準備時、接種直前の複数の場面において対象者の年齢や接種間隔、接種ワクチン種別等の確認を行う。事務員、看護師、接種医でのトリプルチェックを徹底する。
 - ・ワクチン接種にあたっては一人ずつクリアファイルに必要書類一式をセットし接種の流れの中で各担当が確認しているが、そのファイルをワクチン種別が一目でわかるよう色付きのものに変更した。
 - ・ワクチンを準備する際には、母子健康手帳、予診票、電子カルテの接種記録と照らし合わせる。
- ※今後間違い接種が起こらないよう、具体的な再発防止策を検討し記載。